

水沢江刺駅開業40周年記念式典開催

約200人で開業40周年を祝う！

羽田地区振興会・JR水沢江刺駅が主催し、奥州市が共催して、3月15日(土)10時から、水沢江刺駅正面西口広場で、水沢江刺駅開業40周年記念式典が開催されました。

橋本欣也振興会長の式辞、菊地里子水沢江刺駅長による子ども一日駅長辞令交付、倉成淳奥州市長、大瀬雅和JR東日本盛岡支社地域共創部部長の祝辞があり、出発進行式を上り2番線ホームで行いました。

羽田小学校1年

振興会だより

令和7年3月27日発行
編集・発行 羽田地区振興会
編集 羽田地区センター

会、繫縁よさこいの演舞があり、式典を盛り上げていただき、菅原由和奥州市議会議員による万歳三唱で締め、その後、餅まきを行いました。

水沢江刺駅は、14年の歳月をかけて実現した請願駅です。そして、奥州市の全国に向けた表玄関口です。

現在、第3次コミュニケーション計画策定の作業を進めています。羽田のまちづくりに関して、水沢江刺駅周辺の開発を望む意見が多く寄せられています。また、奥州市は「未来羅針盤図」で、「水



の大石皇輝さん、及川恵美さんの二人は、子ども一日駅長の大役を立派に努めましたネ。

記念イベントとして、伊藤流行山鹿踊保存

水沢江刺駅周辺エリアプロジェクトを立ち上げ取り組んでいます。

水沢江刺駅開業40周年を機に、羽田地区、奥州市が連携し、水沢江刺駅周辺の開発を考えていかなければなりません。

その主体は、やはり羽田地区にあります。



「第3次コミュニケーション計画」

課題と解決策を集約

「第3次コミュニケーション計画」策定に係る2月の「課題と解決策の検討」を経て、3月に「課題と解決策」を集約しました。7年度に入り、4月6月の3カ月をかけて、振興会4部会が、「課題解決のための事業・行事検討」、「事業・行事の優先順位検討」をすることになります。

なお、「振興会だより」A4版3面を使い、アンケート問1～11に係る意見等の要約を掲載しました。

能登水害お見舞金贈呈 大船渡山林火災義援金

羽田地区

自治協議会は、2月28日(金)、細川元会長と橋本欣也振興会長が、県共同募金会奥州市共同募金委員



会に、能登水害お見舞金四万六千円を贈呈しました。能登半島は、地震、水害と災害に見舞われました。

2月末～今月にかけて、大船渡市は、山林火災では焼失面積が過去最大となる災害に見舞われました。羽田地区振興会は、「大船渡山林火災義援金」を集めることにしました。

詳細は、チラシをご覧ください。

千葉夏子地域活動員着任

4月1日付で、千葉夏子地域活動員が着任します。これは、菊池彩地域活動員が、事務長に異動することに伴うものです。水沢町内在住の方で、書籍に関わる仕事を多く経験なされています。羽田地区のために、どうぞよろしく願います。

第3次コミュニティ計画アンケート結果 問1 建設防災 地域防災**No.1**

- ・洪水時の避難場所が小学校とZアリーナのみで、羽田中心部から遠いので、看板や放送等で適切に誘導し、すぐに避難ができるようにする態勢が必要だと思います。
- ・昔に植林した木などが手入れされないまま放置され、土地の持ち主も不明、幸い道路まで倒れてきた木は1本だけだが、年々倒れる木も多くなっていて、道路をふさがれてしまうのではと不安になる。
- ・特にゲリラ豪雨によるがけ崩れが考えられる。危険マップに該当はしているが予測不可能です。防災対策を進めてほしい。
- ・森地区は、特に河川に近く、決壊の可能性が高い地域です。近年の線状降水帯などの発生をみると、他人事とは思えません。
- ・羽田小学校に上る“なかよし橋”からの雑木の伐採とがけ崩れ対策。
- ・羽田は水害時には町全体が危険なのに、Zアリーナへの避難では高齢者は難しい。地区センターはもっと安全な場所でもいいのでは？
- ・山も多く崖になっている部分もあり、土砂災害に普段から気に掛けるためにも、随時、現在の状況を見るなどの対応があるとよいと思った。例えば、年1日でも土砂災害の区域の危険度を測るなどしてもよいのでは。また、防災のためにも、放送設備を拡充すれば、安全性が増すと思う。
- ・洪水でZアリーナに避難する際、水没しやすい低地の道路は避けて通りたいので、推奨する誘導路を知っておきたい。
- ・伊手川左岸の新幹線桁下の堤防断面が食い込んでいるので、洪水時に越流しないよう善処してほしい。人首川（伊手川と人首川の合流部の下流部）の河川堆積土砂を掘削すれば、河積断面が増大し、より安全な堤防となる。
- ・地域住民が取り組む防災ですから、堤防の嵩上げ、道路の整備等は行政に任せ、自分たちでできることを中心に考えることが大切だと思います。

問2 建設防災 防災

- ・水害を意識せざるを得ない町の立地である。地区センターの位置も今の場所で良いのか？疑問
- ・各行政区の自主防災組織の体制や役割、担当者についても、地区センターと避難所施設との打ち合わせが必要と考える。
- ・災害は忘れた頃にやってくる。13年前の東日本大震災大津波は、今までの人生においてつらい思い出として残る。最近も、青森、宮城、岩手で震度3位の地震が起きている。怖い。これは止められないから、防災グッズを用意しておいたほうが良いと言われています。
- ・自然災害発生時の避難等における混乱を防ぐために、誘導表示板や地図は重要
- ・過去、羽田地区であった自然災害が、どんなものであったか知らない人もおられると思うので、周知できるものがあるといいなと思います。
- ・地区センターで、防災セミナーを開催してほしい。
- ・Zアリーナまでの避難経路が水没した場合、車や徒歩で行けるところを細かいところまで教えてほしい。
- ・車でもなく、自転車やバイク、リヤカー、徒歩でZアリーナまでの避難訓練。
- ・災害が起きた時にどのように避難すれば良いのかマニュアルが個々にあったほうが良いと思う。この地域で水害がどこで起こるのか、わかるようにしたほうが良いと思います。

問3 建設防災 自然災害から守る

- ・わが地区にも防災自主組織が作られているが、組織図を見ると、ほとんど日中出勤している振興会の役員さんです。日中に局地的な大雨等による水害になったら、避難救護・援護等々の指揮は誰？と不安になる。
- ・避難訓練で歩けない人、高齢者の避難は早いうちに車で運ばれてもいいが、水が出たら、二階以上の高い所に居たほうがよいと言われている。
- ・いざ水害になった時にZアリーナへ避難が難しい行政区は多いと思う。各行政区ごとに、その時の対策を検討しておく必要がある。
- ・普通の訓練ではなく、自宅周囲や避難場所までの道までに、どのような危険があるのか、班ごとに集まり、やるのが良いのではないかと思います。
- ・災害時に必要な防災用品などを各家庭で最低限ほしい物のリスト表などほしい。
- ・避難訓練は継続するべきだと思う。できれば、子供たちと大人と一緒に避難してみる経験が必要だと思います。
- ・備蓄品としては、飲料水、カセットコンロ、懐中電灯、簡易トイレ、ラジオ、常備薬、ヘルメット等、自分で用意することが大事
- ・避難経路を予め決めておいて、班ごとにでも訓練していたほうが安心かなと思います。
- ・避難所の環境はどうなっているのか、まったくわからない状況で高齢者を抱えている人や幼い子供を育てている人などは、避難について不安が大きいので避難訓練をしたい。（ポータブルトイレはあるか？プライバシーは守られているか？）
- ・防災計画の立て方については国土交通省が発行している手引き、総務省の手引き等を参考に、よりよい計画にすることが大切だと思います。

第3次コミュニティ計画アンケート結果 問4 農林保健 農林**No.2**

- ・農業従事者の確保は、非常に難しいことであり、現在、従事者のいない農家がたくさんあり、10～20年後は、現在よりも遊休農地が増えるのは確実だと思います。対策として、県内外からの農業への従事希望者へのPRと積極的な呼び込みが必要だと思います。空き家、空き地対策にも繋がると思います。
- ・羽田の基幹産業である農業について子供たちに引き継ぎたい。困難なことであるが、現在農地の荒廃が進んでいることから、部会を中心にして農業団体との連携を図り、農地の荒廃を防ぐ活動を行いたい。
- ・羽田の基幹産業である農業について子供たちに引き継ぎたい。困難なことであるが、現在農地の荒廃が進んでいることから、部会を中心にして農業団体との連携を図り、農地の荒廃を防ぐ活動を行いたい。
- ・冬になると「雪かきバスターズ」(ボランティア)がいますが、春～秋にも「草刈りバスターズ」がいると助かります。ボランティアは有償でもいいかな・・・。
- ・羽田小学校稲作体験活動は、農業経験のない子どもも増えているので、食育の一環として継続したほうがよい。
- ・新小谷木橋から眺める景色は美しいので、羽田への玄関口として整備するのは良いと思う。農業従事者の確保は切実な問題だ。個人では集団で稲作する、又は会社として人を雇って稲作するなど対策が必要。一戸単位では解決できないと思う。
- ・久保公園は草が伸びやすいので、定期的に草刈りしてあると安心します(駐車場にヘビがいたり、アブやハチもいたりするので、子供たちが児童クラブへ通うことも考えて……)。
- ・地域のコミュニティを深める方法として、子供から大人まで一緒にゴミ拾い、草刈り等を行うのも有効ではないか？

問5 農林保健 保健

- ・東海道を歩く会は、1年ごとに交互に黒石方面、田原方面ですが、その時期になると、道の草刈り等、関係者は大変ですよネ。参加者は変わっているのですが、1回歩けば良いと思う。ウォーキング講座も然り、場所を変えてみては？
- ・小谷木橋ウォーキングは、子どもたちも興味を持っているため、世代を問わず楽しく参加できるウォーキングで交流を図りたいと感じた。
- ・軽運動の推進は、チラシ等での募集では集まらない。指導者等の声掛けが必要。見逃しもあるし、何を行うにもお互いの声掛けが大事である。
- ・地域内ウォーキングは、高齢者だけでなく全世代を対象でやると楽しそう。何をやるにしても、世代間交流ができる方法で取り組んだほうが良いと思います。

問6 商工観光 安全・安心なまち

- ・防犯対策が抜けている。闇バイトによる犯罪が地方に波及する可能性は？高齢者のタンス預金や不使用のクレジットカードなどは、持たないように指導したほうがよい。
- ・羽田町で「羽田食堂」をつくってみんなでご飯をつくる(季節に合ったもの、羽田で採れた食材を使って料理する)。子ども食堂みたいに気軽に行けるような感じでできたら良いと思う。
- ・近所共に助け合い、高齢者宅など安全のため、例えば雪掻き、買い出し依頼など低価格での利用システムを作してほしい。
- ・最近、羽田にも不審者が出ている。市、センター、各自治会と連携してパトロールを行う等、目に見える活動が必要(日中に下見しているケース多い)。
- ・昭和61年頃の大水害(小谷木橋が折れた時)の光景は未だ記憶にあることから、PRというよりも伝承が大事かなと思います。

問7 商工観光 歴史的・文化的資源

- ・県指定有形文化財のリストアップ、PRをもっとするべき。市で補助整備も必要。
- ・歴史的文化的資源、観光、南部鉄器など様々な情報が入ったパンフレットなどの作成とPRがよいと思います。
- ・羽田町の見所(鋳物業・東海道・南岩手交流プラザ)のほか、名所や景勝、羽田小学校脇の展望スペースなど、すべてを集約したパンフ、マップがよいですね。
- ・観光客に鉄器のできるまでを見学できるコースをつくる。熟練技術者を見せ、JRとタイアップして、首都圏の観光客を呼び込む。

問8 商工観光 町の美化運動

- ・新397号線で、道が変わり羽田の町に入れなくなった。この空き地に親子ボランティアで花壇を作っては(田茂山地区)。羽黒山のアテルイ・モレまで行くのに坂だし大変ですから、アテルイ・モレを下に下ろして、この地点にモレの銅像を鋳物組合で協力して建立する、PRになる。
- ・駅前とか場所を指定するのではなく、それぞれ各行政区単位で清掃など、美化運動をしていく。
- ・住民一人ひとりがゴミが落ちていたら拾う、その気持ちが必要であり、ゴミの落ちていない町にはゴミを捨てる人はいません。
- ・徳島県上勝町のごみ分別の取組みがモデルとなり視察等で人が集まっている。ゴミ対策の住民意識を高める、地域おこしにもつながる活動になるのではないかな。

第3次コミュニティ計画アンケート結果 問9 商工観光 商業振興・伝統産業の振興**No.3**

- ・駅周辺を活性化してほしい。
- ・駅東に道路駐車の方がいるほど、水沢江刺駅利用の方が多いのに、店が無いことが残念である。まちづくりプロジェクトに関する後押し「岩手学生ボランティアネットワーク」の存在を知っていますか？若者の力がほしい。協力してほしいと思った時、一助になると思います。
- ・伝統産業（鋳物）の商業振興として、大谷翔平グッズを製作し、日本や海外へ販売。記録づくめで、おそらく歴史に残る人物でもあると思っている。市の観光課？との協力連携が不可欠です。まずは、奥州市の玄関口である水沢江刺駅西口に銅像と記録銘を。
- ・本町通りを歩行者天国にしてのイベント、年に1回あってもいい。ビアガーデンだと飲む人がメインとなるので、酒以外のドリンク等ガーデン・スイーツを。
- ・水沢江刺駅と一体となつての発展以外考えられない。是非とも、駅に併設した軽食、語らい、買物、販売の場を設けたい。
- ・若いままグループでカフェをやってみたい人たちがいるのではないかな。使える空き家とか自分たちの手直しで、ささやかな補助とか、地域でやりたい人を人づてに探して実現させたい。
- ・南部鉄器に関しては、地元の人たちに歴史や作り方など、もっと知る機会を増やすべきである。奥州市鋳物技術センターは、大学の先生が常駐しているし、体験学習が可能である。地元の産業の知見を増やしていただき、人材育成を行うべきである。
- ・水沢江刺駅周辺は土地が限られているので、新小谷木橋周辺に商業施設を誘致するのが良いと思う。常盤地区からの人の流入も見込めると思います。
- ・古民家を改装して大きな農家レストラン、大皿料理、地元女性たちの自慢料理のバイキング、ドリンクは南部鉄器から自分で煎れる、スイーツは季節のカラフル野菜と餅を利用。
- ・鉄器祭りは集客につながり、併せてイベントがあると外国人観光客が増えるのではないかな。体験コーナーがあると良い。
- ・せっかくの駅周辺がみすばらしい。木々は伸び放題。それと近くの公園は他人の手を借り放題、奥州市の玄関口としてこれほど変わらないのも珍しい。
- ・何か新しく作るよりも今あるものを無くさない、は大切だと思います。太田さんのようによそから来てお店を継いでくれる人は本当にありがたい。そういう方を大事にする町だと素敵です。

問10 文教福祉 文教

- ・何をするにも人手不足の時代ですが、伝統芸能は無くしてはならないと思います。
- ・伝統芸能は後継者不足により消滅していくことが考えられるので、残す活動をしていくべきである。
- ・子ども会行事を活発にする。地域の青少年の活性化。これが、将来に地域で活動し、地域振興に寄与する人材を育てる基になります。
- ・世代間交流で様々な情報交換や知識を得ることができ、友達にもなれることだってあるかも知れません。ぜひ実施を
- ・今後、外国人の数が増えてくると予想されるため、他国の文化も理解し、地域の活性化を図る。
- ・水沢江刺駅前に大谷翔平の銅像はいかがなものかな？大滝詠一をもっとアピールしては？
- ・鋳物の歴史を深く知ることは、住民の意識向上につながり、あらゆる面に役立つ。子供が安全に集う場所、遊べる場所が是非ほしい。
- ・アテルイ・モレの慰霊碑周辺の整備をして観光PRをする。
- ・外国語学習、伝統芸能は、今あるものを知ることと新しく学ぶことになるので、すごく良いと思います。外国語は、ちゃんと会話の学習がしたい。
- ・グローバルな世界の中で外国語学習は積極的にやっていったらいい。世代間交流は高齢者の話が聴けてとてもためになった。
- ・若柳地区では、3世代でのスポーツ大会が毎年開催されている。参考にできるのではないかな？
- ・鋳物太鼓など今はどうなっているのか？伝統芸能を伝承することで世代間交流になると思う。

問11 文教福祉 福祉

- ・一人暮らしの世帯には主に民生委員さんが関わっていると思いますが、隣り近所の助け合いで、呼びかけが大切だと思います。施設訪問は、老人クラブ女性で、美山病院を訪問、交流したことがあります。現在は、施設が新しくなっていると思いますの続けてほしい。
- ・子供から高齢者まで、いつでも集える場所をつくり交流を深める。いつでもそこに行くと話し相手になってくれる人がいる、見守ってもらえる地域づくりを願う。
- ・横のつながりを大事にしたい。それには、みんなで清掃、廃品回収、スポーツ大会、訓練参加、イベント参加等々を実施する。
- ・高齢者・障がい者・子育てに暖かく庇護できるまちづくりには、常に町のなかを散策、買い物できる巡回者は必要かと。それと、死角がないように防犯カメラ的に繁華街や主要地方道にある電柱とかに設置。できればスピーカーもあればいいと思います。
- ・独居老人の見守りを強化してほしい。民生委員の訪問も回数が減少している。会話をしてもらいたい。要支援程度の方々が通える筋トレ、足湯などが行える介護老人保健施設を増やしてほしい。